

2024年1月

からし種

カトリック片瀬教会



## 感謝をこめて

### ブランチフィールド神父

12月27日、聖ヨハネの祝日。待降節の4週間の中に主の降誕の祝いを迎える為に、祈りながら心の用意をしましたが、あっという間に1か月が過ぎ、クリスマス当日も過ぎて、振り返っています。感謝すべき恵み多い時であったと思います。大変久しぶりの方々も、初めての方々も大勢いらっしゃいました。みんなのために神様の祝福を祈りましたし、今も祈っています。クリスマスの体験を通して神様が全ての人を愛して、すべての人の救いを望んでおられることがわかりますように・・・。

クリスマスのお祝いを伴う雰囲気、飾りなどにとどまらないことが大切 - 大事なのはマリア様の前に、藁の上に寝ている子どもが誰か - 同時にマリアの子として人間であり、神の子でもある。ヨハネの福音書1章の書き出しにあるように「御言葉は肉となって我々の間に住まわれた。」十字架上で死んで葬られた方が復活して今でも我々の間におられます。

皆さんの祈りの本にもある「お告げの祈り」はこの神秘を簡単な数行で知らせています。毎日のようにこの小さい祈りを唱えましょう。神様が人となって、今でも我々の間におられる。この神秘をもっと深く把握できるように・・・。

では、新しい年を迎えて神様の豊かな恵みがあるよう祈りましょう。

## 2024年1月度 教会委員会報告

開催日時：2023年12月17日(日)午前11時40分～13時05分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、典礼、福祉、財務、会計監査、総務、  
教会学校、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、シトル聖パカ修道女会片瀬修道院

### □ブランチ神父のお話

年末迄のことを大切にしたいです。行事、ミサが多いのでお互いよく連絡を取り合ってください。何か気が付いたことがあったら教えて下さい。また、今までやったこと黙想会や赦しの秘跡の感想を教えてください。個人的にでもいいです。私たちが成長するのにコミュニケーションがあればいいです。

※このことに対して、「色々な神父が来てくれるといい」という感想が出た。

### □全体の報告および連絡事項

1. 2024年5月12日 梅村司教訪問 堅信あれば堅信式。堅信がない場合でも講話等をして頂く。
2. バザーアンケート結果(別紙資料) 回答数 42件。回答内容をまとめると
  - 1) フリーマーケット形式は好意的に受け止められた。
  - 2) コミュニティのつながりにも効果があったと感じた人が多い。
  - 3) 課題として、食べ物が少なかったこと、ゴミ処理の問題を挙げた人が多かった。
  - 4) 信徒に配布する。各信徒が読んで色々な考え、意見があることを知ってほしい。
3. 第5地区教会委員長会議、共同宣教司牧委員会 11月26日 14:00～17:00 大船教会
  - 1) 教会委員長会議では、待降節・降誕祭の日程と教会組織の情報共有  
・教会組織 鍛冶ヶ谷、藤沢、原宿、大船では、組織を3部門に分けている
  - 2) 共同宣教司牧委員会では、主に各小教区における信者の養成の具体例を共有した。
    - ①戸塚教会：共同宣教司牧の練成会。教皇の使徒的勧告「喜びに喜べ」をもとに6つのグループに分かれて分かち合いをしている。
    - ②大船教会：聖書100週間を続けている
    - ③鍛冶ヶ谷：臨時の聖体奉仕者により、教会に来られない人へ神父の代わりに聖体を運んでいる。
    - ④中和田：共同宣教司牧を理解し深めるために読書会を企画。聖書の一節を書く「書の会」をしている。
    - ⑤原宿：ミサ後、司教教書読み合わせを2年間している。入門講座に対しての学として「堅信への道」の読み合わせ。サポートチーム神奈川のコースに積極的に参加してもらっている。金曜日の午後「典礼憲章」の読み合わせをしている。
    - ⑥藤沢：サポートチーム神奈川のコースに積極的に参加。
    - ⑦片瀬：何十年ぶりかで「カトリック入門講座担当者養成コース」に2名参加。
4. 2024年成人のお祝いは、1月7日10時のミサで行う。ミサは子どものミサにする。該当者2名(片瀬海岸3丁目 TAさん、片瀬5丁目 NMさん)に案内を送った。ミサ後お祝いの会食を今年同様に行う。
5. 1月14日(日)に入門式を行う。
6. 司祭館応接室のエアコンが故障した。古い機種で交換部品なく、買い替えが必要。

## 各部会からの報告

### 1. 財務部

年度末なので、12月24日迄清算をお願いする。会計係は24日にいる。

### 2. 典礼部

12月24日のミサには、聖堂の聖歌集を増やす必要がある。予備の聖歌集の保管場所を確認したりする必要があるので総務と典礼で話して準備をする。

### 3. 福祉部

- 1) 小さき花の園ボランティア募集を12月8日から掲示する。
- 2) AOSへのプレゼントを袋詰めした。58セットでき、末吉町教会へ運んだ。

### 4. 教会学校

11月末からクリスマスの準備をした。プレセピオ、信徒会館の飾り、家に飾るロウソク作り。今日、シスターも交えてハンドベルの練習をした。小さい子どもたちが頑張っている。信徒会館の飾りをつけたことのお知らせに掲載する。

### 5. 中高大青会

- 1) 12月25日のミサ後、ランチ神父を囲んでの教会全体でのお祝いパーティをしたい、ドイツのクリスマス料理も予定している。多くの信徒に参加してもらいたいので、24日、25日のお知らせに掲載する。
- 2) 24日は、夕方から夜遅くまで中高大青が奉仕するので、夜の食事を提供する。
- 3) 11月26日(日)碑文谷教会の中高生8名が来訪された。中高大青と昼食を共にし、話も弾んだ。碑文谷教会は夏の合宿を行っていて、片瀬教会を使いたいと要望がでた。

### 6. 一粒会

神学生との交流会を1月7日に予定。神学生は大船教会で実習をしているグエップ神学生。ミサ後、多くの信徒と交流できるような会食を企画する。第5地区一粒会委員にも案内する。

### 7. 市内キリスト教連絡会

- 1) ふじさわ市民クリスマスの報告があった。2日(土)のキャロリングは、30名程参加。片瀬のバンドが好評だった。チラシを手にする通行者が多く見られた。9日(土)は、藤沢教会で257名参加したが片瀬教会からは、4名しか参加していなかったのが残念。
- 2) 1月20(土)「キリスト教一致のための合同祈祷会」 14:00~15:30 湘南台バプテスト教会で行われる。多くの信徒の参加を望むのでお知らせ掲載等を行う。

## □ 検討・決定事項

1. 2024年間予定案(別紙)配布。内容を確認してもらう。

2. 片瀬江ノ島駅ナビタを更新。契約期間 2024 年 2 月 1 日～2025 年 1 月 31 日。  
掲出料金 ¥150,000 (税別)
3. 聖堂横の排水口の排水状況が悪く水が逆流したりする現象がある。業者に確認してもらおう。

次回委員会開催 1 月 21 日

## 新しい年を迎えて

教会委員長

皆様、新年あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。昨年は2つの大きな事をしました。一つは「マドンナ会、ヨセフ会を廃止してみる」こと、もう一つは「バザーをフリーマーケット形式にしてみる」ということでした。これらに先立ち皆様にはアンケートのご協力を頂きました。これにより大きな収穫がありました。それは、一人一人色々な考え、思いがあるということがはっきり見えたからです。皆様にもアンケート結果報告にご意見全てを載せることで分かって頂けたと思います。

教会は「一つになって」とよく言われます。ところが十人十色の考え、思いがある中でどうしたらいいのでしょうか。いわゆる多様性を尊重することが大切であると言われていています。1月の教皇の意向は「多様性という賜物」です。多様性があるって一つになる？ずっと考えてきましたが、分かってきたことは「一つになる」ことと「一様性」とは違うということです。多様性があるって一つになるということは、お互いを認め合い、愛しなさいということ、愛するということは相手を自分の心に受け入れるということ、心に受け入れるには…「心の貧しきものは幸いである。天国は彼らのものだからである。」という言葉がふっと浮かんできました。そして相手を認めることは人間の考えだけでは絶対できない、それは今の起こっている自己主張の悪魔である戦争が物語っているでしょう。

我々には神の助けが必要なのです。宣教は誰がするの？と思う時、それは神父でしょうか宣教司牧の人たちじゃない？信徒みんなよ？と考えますが、それらは全部違います。宣教は神がするのです。私たち一人一人はその証し人です、使徒言行録にははっきりと書かれていますよね。神と一緒にならない限り教会はありえないのです。今年、神がいつも私たちと一緒にいて下さるよう祈りながら過ごしましょう。

## パウロの回心

1月25日は「パウロの回心」の記念日です。パウロは元々サウロと呼ばれていました。今のトルコの南東部にあるタルソという街に生まれました。熱心なユダヤ教徒であったためキリスト教徒を迫害し、教会を荒らしていました。

ある時、キリスト信者たちを逮捕するためシリアのダマスコに向かう途中で、突然天から「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するのか」というイエスの声を聞き、地面に倒れます。この時から目が見えなくなり、ダマスコへ人々に手を引いて連れて行かれます。

一方、ダマスコにアナニアというイエスの弟子がいて幻の中で主にサウロの所へ行って頭の上に手を置くように言われます。アナニアはサウロが自分たちを迫害していること知っていたので、躊躇しますが、主に「行け、あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、わたしが選んだ器である。わたしの名のためにどんなに苦しまなくてはならないかを、わたしは彼に示そう。」と言われ、出かけて行ってサウロの上に手を置き、「聖霊に満たされるようにと主がお遣わしになった」と言います。するとたちまち目からうろこのようなものが落ち、サウロは元通り目が見えるようになり、すぐに洗礼を受けます。ことわざの「目からうろこ」はこのことからできました。その後、彼は異邦人の世界へキリスト教を広めていきます。パウロの活動は使徒言行録に書かれていますが、特に22章では自分で回心の話をしています。

## クリスマスチャリティーコンサートを聴いて ～「ちいさな曲芸師バーナビー」～

12月半ばとは思えない暖かな昼下がり、聖堂で素敵なコンサート『朗読と音楽で聴く絵本「ちいさな曲芸師バーナビー」』が開かれました。

朗読の野田香苗さんの美しい澄み切った声と渡邊温子さんの軽やかなチェンバロの音色が、聴き手を主人公バーナビーの世界へぐんぐん誘って行きました。

あらすじは…幼くして母を亡くし10歳で父を亡くした少年バーナビー。曲芸師として国中を旅していましたが、冬になると観客はいなくなり一人ぼっち。そんな彼を修道士が修道院に連れて来てくれました。そこでは、みんな神様に祈りを捧げ、神様への贈り物を作っていました。しかし、父親から教わった曲芸以外は何も出来ないバーナビー。次第に自分が役立たずの人間だと思い始め苦しみ悲しみます。

小さな礼拝堂の聖母子像の前で、皆から隠れるように心を込めて曲芸をするしかないバーナビー。でも、神様はしっかり見ていてくださいました。バーナビーの「曲芸」は、修道士の「祈り」と同じなのだ。自分に出来ることをひたむきに頑張り、誰かのために何かをしたいと言う気持ちが大切なのだ。

クリスマスを迎えるにあたり周りの商業的な雰囲気には陥りがちですが、本当の「贈り物」とは…と考えさせられたお話でした。朗読と朗読の合間のチェンバロの演奏が、より深くお話の情景を心に刻んでくれる時間となり絶妙でした。クリスマスに限らず、毎日毎日が神様からの「贈り物」であることに感謝しながら過ごしたいものです。なお、このコンサートの収益金は、イエズス会の安藤勇神父様を通しジャパ・ベトナムに寄付されました。



## 今年最後の入信講座



12月22日金曜日のミサ後の「入信講座」は今年最後となり、前半は「傾聴」について分かち合い、後半はクリスマス茶話会を致しました。手作りのケーキとお茶で神父さまを囲み、話が弾みました。最後に西田さんがミラノのマリオ神父さまからのお手紙（ガーデニングサークルへの返信）を紹介してくださいました。それは素晴らしい「祈り」でした。原文の一部を抜粋してご紹介致します。

主の平和！片瀬教会のガーデンを美しくすると同時に、神様の「ガーデン」であるこの世界のことも考えます。「神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ、それは極めて良かった。」（創世紀1-31）だが、人間の欲望、憎しみ、戦争等によってこの「ガーデン」をめちゃくちゃにしてしまったのです。

この「ガーデン」をもう少し美しくするには、祈りと愛のわざが必要でしょう。いつまでも仲良く美しい片瀬教会と全世界の「ガーデン」を、作り出すことができますように。皆様の上に神の祝福がありますように。キリストのうちに。マリオ・バラロー

ブランチ神父さまも、いつもミサや講座の中で同様のことを話されています。今日の講座も相手の立場を尊重すると言うことが、中心課題でした。そのような気持ちが、一人一人に少しでもあれば、きっとステキな「ガーデン」が築けると思います。一年間の

締めくくりとして、素晴らしいひとときでした。

来年は1月12日から「入信講座」スタートします。どうぞ皆様お越しく下さい。

## 「テゼの祈り」の祈りに参加して

K.E.

カトリック新聞（10/15付）に「シノドス（世界代表司教会議）開会に先立ち、教皇フランシスコは9月30日の夕方、ローマのサンピエトロ広場で、シノドス参加者とキリスト教諸教派の代表者たちが共に祈る集い『テゼの祈り』を開催した」とありました。

入信浅い私には、初めは教皇様が開催した「テゼの祈り」とは何かよく分かりませんでした。紙面を読んでいるうちに、それが全世界で同じ祈りと歌を共にささげるエキュメニカル（教会一致運動的）な集いであることを知りました。

第二次大戦中、分裂・疲弊したこの世界で、せめてクリスチャンだけでも目に見える形で和解し、カトリックとプロテスタントの兄弟が共に生きることができれば、小さな希望のしるしになるのではと、フランスのテゼ村に男子修道会・テゼ共同体が発足し、そこでの祈り——深く長い沈黙と単純素朴な祈りの歌、聖書の朗読——が、現在世界各地に広まり、多くの言語で歌われているそうです。

その「テゼの祈り」が先月5日にカトリック藤沢教会で開催されました。

聖堂内はロウソクの灯火だけ。静寂の中に、ギターコード伴奏による弾き語りの先唱者の歌声が響きわたります。聖句に単純なメロディーがついたものが何回も何回も繰り返され、自然と一緒に口ずさんでしまうのです。初めは聴いているだけでしたが、何かに引き込まれるように声が出てくるのです。本当に不思議な体験でした。詩編・福音の朗読、共同祈願の間も常に長い沈黙とこの祈りの歌が繰り返されました。いつものミサとは違い、薄暗く静まり返った広い聖堂内は恐怖感さえ覚えましたが、祈りの歌を繰り返すごとに、神様と共にいる実感がわき、そこにいることが安堵感へと変化して行くのを感じました。

現在のイスラエルとパレスチナ、ウクライナ、その他世界のいたるところでの紛争、それに伴う飢餓や難民等の問題を考えると、今こそ「テゼ共同体」の発足精神を思い起こし「祈ること」の大切さを実感しました。

次回の「テゼの祈り」は、1月23日（火）19時よりカトリック藤沢教会で開催されます。是非、皆様ご参加ください。

## 2023年 主の降誕祭

3年間のコロナ禍自粛が終わり、全員で集えるとあって沢山の笑顔に囲まれた明るい主の降誕祭となりました。未信者の方や暫くぶりで教会に来られた方も多く、尊い交流が交わされていました。

24日17時のミサは190名もの参加者で聖堂が埋まり、ハンドベルの神聖な音色が響く中クリスマスミサが開始されました。続く20時のミサは寒かったこともあり、62名の参加者によって厳粛な雰囲気で行われました。25日の日中ミサには135名が集い「永遠のみ言葉」を唱えて主の誕生を祝いました。それぞれのミサの最後には、黄色い本「ハレルヤ・クリスマス」を信徒が心一つになって歌い、喜びの多いクリスマスミサとなりました。

日中ミサの後には信徒会館でパーティが開かれました。沢山の人が神父様の音頭で乾杯、途切れることのない歓談が繰り広げられました。クリスマスに定番のチキンやマッシュドポテトに加えて、クリスティーナさんがドイツ料理を披露。きのこクリームソースをかけたゼンメル・クヌーデル(パンのお団子)や絶妙なスパイスを利かせたパンチボールが好評でした。前もっての仕込み等の準備に、中高大青会の方々の懸命な協力もあり、温かい心のこもったおもてなしとなりました。

教会学校や中高大青会が積極的に関わることで、若い世代の活躍が見られるようになってきたことは大変喜ばしいことと、神父様は目を細めておられました。





## 2024年1月

### ☆教皇の意向：多様性という賜物

キリスト者の共同体には賜物として多様なカリスマがあること、また、カトリック教会には多様な儀式の伝統があることを、聖霊の導きによって気づくことができますように。

### ☆日本の教会の意向：すべての命を守る

神が与えてくださったすべての命の尊さを悟り、互いを思いやることができますように。  
( 祈りのしおり「きょうをささげる」より )

### ☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ時間	行事・活動予定
1/1 月	✠神の母聖マリア	11:00	
2 火	聖バジリオ 聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教教会博士 記		
3 水			
4 木			
5 金	初金	9:30	
6 土			
7 日	✠主の公現	8:00 10:00 (子供のミサ)	10時ミサ成人のお祝い、 神学生交流会
8 月	主の洗礼 祝		
9 火	(年間第1週)		
10 水			聖書講読会 10:00
11 木			サダナの祈り、まりあ食堂
12 金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
13 土			
14 日	年間第2主日	8:00 10:00	10時ミサ 入門式
15 月			
16 火			
17 水	聖アントニオ修道院長 記		聖書講読会 10:00
18 木			
19 金	キリスト教一致祈禱週間(25日迄)	9:30	ミサ後、入信者のための講座
20 土			キリスト者一致のための 合同祈禱会 14:00~15:30 湘南台バプテスト教会
21 日	年間第3主日(神のことばの主日)	8:00 10:00	2月度教会委員会、福祉バザー、 聖公会とカトリック合同 夕の礼拝 16:00 カトリック逗子教会
22 月			
23 火			
24 水	聖フランシスコ・サレジオ司教教会博士 記		聖書講読会 10:00
25 木	聖パウロの回心 祝		
26 金	聖テモテ 聖テトス司教 記	9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
27 土			
28 日	年間第4主日 ※世界こども助け合いの日	8:00 10:00	
29 月			
30 火			
31 水	聖ヨハネ・ボスコ司祭 記		聖書講読会 10:00

◆お知らせ◆

○チャリティバザーの収益は、支援先のミンダナオ子ども図書館には送金しましたが、もう一つのモロッコ地震被災者支援につきましてはカリタス・ジャパンの支援が終了してしまいました。従って、別の支援先を2月度教会委員会で検討します。

○1月23日(火)19時よりカトリック藤沢教会にて、「テゼの祈り」が開催されます。全世界で同じ「み言葉と歌」をささげるエキキュメニカル(教会一致運動的)な集いです。世界の連帯と平和を願い、ともに歌い、沈黙し、祈りませんか。

※12月号のからし種(P. 3)で、岡本葬儀社とあるのは、岡村葬儀社の間違いでした。訂正しお詫び致します。



2024年1月号

発行 カトリック片瀬教会  
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35  
TEL/FAX 0466-22-4646  
<https://www.catholickatasechurch.com>